

【2】 種類別明細書(増加資産・全資産用)の書き方

- イ、前年度申告済みの事業者は、前年中の増加資産を記入してください。また、前年度に取得した資産を申告し忘れていた場合は、その資産も記入してください。
- ロ、自社電算申告の事業所は記入する必要はありません。
- ハ、今年度はじめて申告される事業所は、全資産を記入してください。

取得価額には、取引運賃・荷役費・運送保険料・購入手数料・据付費等を含みます。また、取得価額が20万円未満であっても個別償却している資産は申告してください。なお、圧縮記帳は固定資産税の評価上、認められていませんので、圧縮記帳額を含めた取得価額を記載してください。

税務署に申告する時に用いている耐用年数を記載してください。短縮耐用年数を適用している場合は「短縮耐用年数承認書の写」を添付してください。

申告書に記載した所有者名。

申告年度を記載してください。

申告書の右上の所有者コードを記載してください。

該当資産の名称を20字以内で記載してください

取得年月を記載してください。年号については、**昭和-3、平成-4、令和-5**、です。1月1日に取得した場合は、その前年の12月を取得年月日としてください。

該当資産の数量を単位をつけずに記載してください。

《資産の種類》	
番号	資産の種類
1	構築物
2	機械及び装置
3	船舶
4	航空機
5	車両及び運搬具
6	工具、器具及び備品

令和〇年度		種類別明細書(増加資産・全資産用)										所有者名		1枚のうち		
所有者コード		80001001										株式会社〇〇建設		1枚目		
行番	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額		耐用年数	減価残存率	価額	課税標準の特例	課税標準額	増加事由	摘要
					年号	年	月	千円	百円							
01	1		広告塔	1	4	16	08	2,000,000	20	0.				12		
02									0.					34		
03	2		溶接機	1	4	15	09	600,000	12	0.				12	中古資産	
04	2		機械改造費	1	4	16	02	2,000,000	09	0.				34		
05									0.					12		
06	6		パソコン	4	4	16	01	1,000,000	04	0.				12		
07	6		ルームクーラー	1	3	63	04	500,000	06	0.				34	19年5月〇〇市より申告漏れ	
08									0.					12		
09									0.					34		
10									0.					12		
11									0.					34		
12									0.					12		
13									0.					34		
14									0.					12		
15									0.					34		
16									0.					12		
17									0.					34		
18									0.					12		
19									0.					34		
20									0.					12		
小計				8				6,100,000						34		

種類別明細書(増加資産・全資産用)のページ数を記載してください。(例:10枚のうち1枚目)

資産を取得した事由について、該当する番号を〇で囲んでください。

番号	増加事由
1	新品取得
2	中古取得
3	移動による受け入れ
4	その他

次のような事項を記載してください。

1. 中古見積耐用年数を適用した資産
(例) 中古資産
2. 他市町村から移動により受け入れた資産
(例) 〇月〇日××市より
3. 増加償却を届出をした資産
(例) 増加償却
4. 課税標準の非課税及び特例に該当する資産
(例) 特例・法349条の3①
5. 前年度に申告をし忘れている資産例) 申告もれ
※申告もれや錯誤があった場合は、5年間遡って修正申告してください。

第二十六号様式別表一

【3】 種類別明細書(減少資産用)の書き方

- イ、前年度申告済みの事業者は、前年中の減少資産を記入してください。
- ロ、自社電算申告の事業所は記入する必要はありません。
- ハ、今年度はじめて申告される事業所は、記入する必要はありません。

当該資産が減少した事由をその区分について該当するものの番号をそれぞれ○で囲んでください。

この「種類別明細書(減少資産用)」について○枚のうち枚数というようにページ数を記載してください。

申告年度を記載してください。

記載する必要はありません

申告書の右上の所有者コードを記載してください。

令和 ○ 年度		所有者コード	種類別明細書(減少資産用)										所有者名	1枚のうち			
		80001001											株式会社 ○○建設	1枚のうち			
行 番 号	資産 の 種 類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額		耐用 年数	申告 年数	減少の事由及び区分				摘 要	
					年 号	年	月	千 円	百 円			千 円	円	1 売却 3 移動	2 減失 4 その他		1 全部 2 一部
01	2		発電機	1	3	60	01	500	000	13	①	2	3	4	①	2	平成19年6月(有)○○建設へ売却
02											1	2	3	4	1	2	
03	6		パソコン	1	3	63	04	300	000	5	1	②	3	4	1	②	全2台のうち1台減失
04	6		エアコン	2	3	62	04	400	000	6	1	②	3	4	1	②	取得価額100万円(5台分)のうち40万(2台分)廃棄
05	6		ファックス	4	4	01	09	700	000	5	1	2	③	4	①	2	平成19年5月○○営業所へ
06											1	2	3	4	1	2	
07											1	2	3	4	1	2	
08											1	2	3	4	1	2	
09											1	2	3	4	1	2	
10											1	2	3	4	1	2	
11											1	2	3	4	1	2	
12											1	2	3	4	1	2	
13											1	2	3	4	1	2	
14											1	2	3	4	1	2	
15											1	2	3	4	1	2	
16											1	2	3	4	1	2	
17											1	2	3	4	1	2	
18											1	2	3	4	1	2	
19											1	2	3	4	1	2	
20											1	2	3	4	1	2	
小 計				8				1 900 000									

番号	資産の種類
1	構築物
2	機械及び装置
3	船舶
4	航空機
5	車両及び運搬具
6	工具、器具及び備品

当該資産について必要と思われる事項を記載してください。
(例) 減少の区分が「2 一部」に該当する場合は、「取得価額100万円のうち40万円廃棄」と減少した額及び取得価額を摘要欄に記載してください。

減少した資産があれば、同封の「種類別一覧表」から該当資産を抜き出し、一覧表に記載されたとおりの内容を記載してください。

第二十六号様式別表二